

船堀・一之江エリア 歳時記 <イベントスケジュール>

イベント名の後に記載の数字は、えどがわ百景の番号です。
裏面のマップで位置を見て下さい。

2月 伝統工芸展(タワーホール船堀) 31

4月 新川千本桜まつり 47

日本観賞魚フェア(タワーホール船堀) 67

7月 古川まつり 59

9月 月見の宴(一之江抹香亭) 32

10月 中央・一之江ふるさとまつり 22

11月 一之江駅前西口秋イルミネーションミュージックねぶた祭り 36

※開催時期は変更となる場合があります



31 技の競演 子らに伝える 伝統工芸展

普段見ることのできない伝統工芸者の実演も行われ、熟練した技を見ることが出来ます。



36 区画整理で誕生 一之江駅前西口広場

一之江駅前西口秋イルミネーションミュージックねぶた祭りではゴスペルのライブなどが行われ、葛西工業高校の「ねぶた」がまちを練り歩きます。



125 江戸情緒溢れる にぎわいの拠点 新川さくら館

年に6回開催

新川あさ市は、模擬店やスタンプラリー、和船運航など、多くの人でにぎわいます。

今昔物語 47 新名所 新川千本桜と火の見櫓

新川は行徳の塩を江戸に運ぶために開削された川で、東日本諸国から様々な物資を江戸に運ぶ輸送路として、江戸の生活を支えるだけでなく、成田詣にも使われる重要な河川となりました。明治時代から昭和初期にかけては「ボンボン船」として親しまれた「葛飾丸」などの定期船が航行し、人々の往来も担っていましたが、やがて通船の廃止や地盤沈下に伴うコンクリート護岸のかさ上げにより、人々の生活は新川から遠ざかっていきました。

時を経て、ふたたび人々が集える水辺空間を取り戻すべく、平成6年から護岸の耐震・環境整備が、平成19年からは新川千本桜計画が進められ、更に地元住民が中心となり設立された「新川千本桜の会」の募金活動などにより、700本以上の桜が沿川に植えられ、ふたたび人々が集う魅力あふれる水辺空間に甦りました。

新川千本桜沿川地区は平成 28年に都市景観大賞(都市空間部門)を受賞しています。



【整備前】



【整備後】

歴史探訪 38 時代の変遷映す今井街道

平井の渡しから今井の渡しを結ぶ行徳道(現在の今井街道)は、江戸時代から元佐倉道と並んで江戸川区域を東西に横断する重要な路線で、成田山や浅草観音への参詣路にも利用されました。明治時代になると行徳街道と呼ばれるようになり、大正14年からは行徳街道の南側に平行して城東電車が開通、車輛が一両で「マッチ箱電車」と呼ばれていました。昭和27年には架線からの電気で走るトロリーバスに代わり、上野公園と今井を結んでいましたが、自動車の普及に押されて昭和43年に廃止となり、路線バスの運行となりました。一之江境川親水公園と今井街道が交わるあたりでは、当時を思わせる軌道跡のモニュメントや城東電車・トロリーバスのブロンズ模型を見ることができます。



城東電車 <東荒川停留所(現・西小松川町)>



トロリーバス <今井付近>

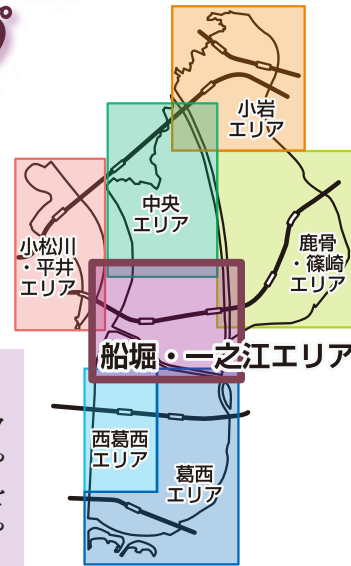
えどがわ百景とは

江戸川区では、まちの魅力をもっと高めるため「好きな景観」や「気になる景観」を募集し、平成22年に「えどがわ百景」を選定しました。その後見直しを行い、平成30年4月より133の景観ポイントを「えどがわ百景」として位置付けています。



えどがわ百景 探訪マップ

えどがわ百景をより楽しんでいただくため、エリア毎に「えどがわ百景探訪マップ」を作成しています。マップは各区民館やコミュニティ会館などで配布しています。



徒歩の駅とは

様々な地域資源ネットワークで結び、途中で情報交流やお休み処として徒歩の駅を設定しています。手洗所やベンチがあります。



江戸川区は、誰もが安心して暮らせる共生社会の実現に向けて、SDGsに積極的に取り組んでいます。17あるゴールの中で、えどがわ百景事業はNo.11「住み続けられるまちづくりを」、探訪マップでまちあるきをするのは、No.3「すべての人に健康と福祉を」につながります。

発行日: 平成30年4月
改定日: 令和3年12月
発行: えどがわ百景幹事会
事務局: 江戸川区都市開発部都市計画課

電話 03-5662-6369

作成協力: 景観まちづくりワークショップ <徒歩の駅グループ>

作成支援: 街づくり推進コンサルタント派遣制度

参考文献: 「江戸川区の史跡と名所」平成20年1月

江戸川区教育委員会

「理想のまちづくり半世紀の航跡江戸川区政50年史」

平成13年3月江戸川区

船堀・一之江エリア



探訪マップ

凡例

1 えどがわ百景ポイント(数字は百景の通し番号)

新川・古川コース

約5.5km 約1時間50分

一之江コース

約4.5km 約1時間30分

※ルート案内は時計回りを想定しています。

- 主要道路
- 地下鉄
- サイクリングロード
- 旧道
- 公園・緑地等
- トイレ
- 車いす対応トイレ
- 学校
- 徒歩の駅
- ① オススメ店
- ス スタンプ設置箇所
新川さくら館
一之江抹茶亭



47 新名所 新川千本桜と火の見櫓

全長3kmの新川は江戸情緒あふれる街並みとして整備され、春には20種の桜が咲き誇ります。



28 浴衣地たなびく 村井染工場

昭和11年に東小松川で創業した伝統の工房。かつては一之江境川で「洗い」の工程を行っていました。



22 全国初の景観地区 一之江境川親水公園

自然との触れ合いを味わえる親水公園。平成18年には日本で初めて景観地区となりました。

歴史探訪～行徳道～



自然豊かな親水公園と抹茶亭で四季を感じる 一之江コース

28 浴衣地たなびく 村井染工場

《徒歩の駅》 一之江水神橋跡 広場

桜の名所と塩の道の歴史をたどる 新川・古川コース

《徒歩の駅》 二之江 コミュニティ会館

オススメ店

- ① 伊勢屋餅菓子店(和菓子) TEL 03-3689-1673
- ② 角弥寿(和菓子) TEL 03-3680-7651
- ③ ジオーク ベーカーリー(パン) TEL 03-6808-8608
- ④ 三角砂場(蕎麦) TEL 03-3680-5561
- ⑤ kobby's coffee(喫茶) TEL 03-6319-0075
- ⑥ 喫茶ポピュレール(喫茶) TEL 03-3656-5721
- ⑦ 大新楼(中華) TEL 03-3656-3181
- ⑧ そば処 長寿庵(蕎麦・小松菜うどん) TEL 03-3654-6739



32 庭園と屋敷林が調和する 抹茶亭

かつて抹茶を作っていた場所で、一年を通して四季を感じる様々なイベントが催されています。



123 学び場の記憶 一之江分教場の杜

大正から昭和にかけて一之江地区の低学年児童が通う分教場があった場所が、公園として整備されています。



115 風格ある門構え 明和橋

「門」をイメージした橋で、人々が明るく和やかに集える場所として整備されました。



75 開削半世紀 すっかり馴染んだ 新中川

昭和16年から整備が始められ、昭和38年の今井水門の完成により新中川が生まれました。



地域に愛される新川の橋

新川には地域に愛される魅力的な橋が架かっています。「宝橋」は近隣の小学校児童から募集して名づけられ、4つの人道橋と2つの広場橋の名前は「新川千本桜」と「江戸風情」をテーマに公募されました。これらの橋には、地元の中学生在が筆書きした文字を鋳物にした橋名板が取り付けられています。



桜橋(広場橋) 小江戸橋(人道橋)

船堀・一之江エリア

えどがわ百景探訪記念スタンプ 年 月 日に探訪!



59 全国初の古川親水公園

住民の「川を残してほしい」という声を受け、全国初の親水公園として昭和48年に完成しました。

おくまんだしの水 熊野神社の社前にあった「おくまんだし」と呼ばれた江戸川の深い淵の水は清澄で、将軍家の茶の湯に使われていたと言われています。

スタンプは、地図上に「ス」マークが表示された区の施設に設置しています。詳しくは、事務局へお問合せ下さい。

